

こぎ 小 木 の 子



富士第二小学校
学校だより
令和4年10月21日

後期始業式で話したこと

10月11日から後期が始まりました。今回は始業式で話した内容を紹介합니다。文字にするので、実際に話した言葉とは違う部分がありますが、その点ご了承ください。

みなさん、こんにちは。今日から、後期が始まりました。気持ちを新たにして、元気に学習や生活に取り組んでほしいと思います。

さて4日前の前期が終わった日に、うれしいことがあったので、まずそれをお話しします。その日の帰りは、雨が降り始めたこともあって、けやき広場でみなさんの帰りを見送っていました。すると数人の子が来て「ありがとう」と言葉をかけて帰って行きました。

終業式の中で「見守ってくれた人たちに『ありがとう』と声に出して伝えましょう」と話しましたが、それを実行してくれたのです。とてもうれしくて、心があたたかくなりました。富士二小の子どもたちは、やっぱり素敵だなと思いました。それでは、後期の始まりにあたり、みなさんにいくつかお話をします。

1つ目は、夢中になって勉強して欲しいということです。せっかく学校に来て、何時間も授業をするわけですから、新しく学ぶことに興味をもって取り組んだり、できないことはなんとかできるように繰り返し挑戦したり、分かるために一生懸命考えたりしましょう。今の自分が知らないことや、うまくできないことをやるのだから、はじめからうまくできることばかりではありません。覚えたりできるようになるために、考えたり工夫したりすること、それが勉強になります。



2つ目は、友達に優しくして欲しいということです。優しくするためには、相手のことを考えることが大切です。自分がどんなことをしたり、どんな言葉をかけたりすると相手がうれしい気持ちになるか、よく考えて、友達と一緒に勉強したり遊んだりしてください。

3つ目は、気持ちの良いあいさつをすることです。まだマスクをして大きな声を出さない生活が多いので、できなくてもしかたがないと思うかもしれませんがそれは違います。あいさつをすることというのは、相手がそこにいることを意識しているということです。あいさつが減ると、人と人の良いつながりも減ってしまいます。ぜひ、みなさんで、あいさついっぱい富士二小にしてください。



最後4つ目は、くつのかかとをそろえて欲しいことです。朝、学校に来て、靴箱に靴を置くときに、かかとを靴箱の縁とそろえて置くようにしてください。そうすることで、自分の心を整えて、落ち着いた気持ちで1日をスタートしましょう。また、靴箱の見え目もきれいになり、気持ちよくなります。

今 お話したことを、みんなががんばってくれると嬉しいです。

夢中になっている子どもは生き生きとしていてとても素敵です。話の中では勉強に夢中になって欲しいと子どもたちに言いましたが、学校としても、子どもが目を輝かせて取り組む授業を常に行うことができるように、これからも研鑽を重ねていきます。

新型コロナウイルス感染症について

現在、本校の新規感染者は減少しています。しかし、市内では半月で100名ほどの学校関係者の感染が報告されています。11月1日には6年生の修学旅行も計画されていますので、引き続き基本的な感染対策を全校で徹底していきます。ご家庭でも、感染防止を引き続き行いながら、昼夜の寒暖差によって体調を崩さないように気を付けて、規則正しい生活を送るようお声掛けください。